

## 1.4 地方創生・地域活性化への貢献

本取組は、東日本大震災により甚大な被害を受けた本市が抱える、震災に起因する人口減少・少子高齢化の加速化、復興公営住宅における高齢独居世帯の増加や半島沿岸部の移動手段等といった課題に対し、ステークホルダーとの連携のもとで経済、社会、環境の三側面に利益を循環させ自律的好循環を生み出しながら課題解決を図り、未曾有の大震災からの復興とその後の更なる飛躍を果たすことで、「最大の被災地から未来都市石巻」の実現を目指すものである。

### 【経済面】

ハイブリッドリユース事業を展開し、地域の新たな産業としての定着を図り、地域経済を活性化させることにより、若者の働く場を確保し、地元企業への就職促進及び地元定着の拡大を図ることで、地域産業の担い手不足の解消に貢献する。

また、新卒高校生等に対し市内企業の事業内容等を紹介する取組を通じて、若者の地元企業に対する理解促進を図ることにより、求職・求人のミスマッチの解消に貢献する。

地域交通情報アプリケーションやコミュニケーションロボットといった未来技術を活用した取組を推進することに加え、当該ロボットの組み立てを市内学生が行うことにより、IT人材の育成を図ることで、未来技術導入の遅れの解消に貢献する。

### 【社会面】

地域交通情報アプリケーション及びグリーンスローモビリティを活用した新たな移動手段の構築により、公共交通の利便性不足の解消に貢献する。また、コミュニケーションロボットの活用により高齢者のデジタルデバイドの解消に貢献するとともに、外出機会を創出することで、孤立化やコミュニティに係る課題の解消に貢献する。

### 【環境面】

100%自然エネルギーによるグリーンスローモビリティの活用促進により、二酸化炭素等温室効果ガスの排出量削減に貢献するほか、ハイブリッドリユース事業の展開やSDGs学習アプリケーション等を通じたSDGsの理解を促進する取組を進めることにより、環境に対する市民の意識向上を図るとともに、資源の消費抑制・有効活用に係る課題の解消に貢献する。